

【家庭教育支援于一ム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	宇部市訪問型家庭教育支援チーム「桃山」 (呼称:こどもえがおサポートチーム(桃山))
②活動拠点	宇部市立桃山中学校 宇部市立新川小学校 宇部市立小羽山小学校
③活動範囲	同上(各地区)
④組織体制	<u>3 人</u> スクールソーシャルワーカー1人 訪問型家庭教育支援員2人(小学校区ごとに1名配置)
⑤活動開始年度	令和2年度(2020年度)
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 宇部市教育委員会教育支援課 (TEL)0836-34-8630 (E-mail)g-anshin@city.ube.yamaguchi.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☐ 保護者等への学びの場の提供 ☐ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☒ 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒ 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒ その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒ その他(子育てサロンの開催等)
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 【定期的な学校との連絡会議】 2か月に1度、地区内の小中学校長とこどもえがおサポートチーム及び教育委員会が参加する連絡会議を開催して情報交換を行い、支援対象者の選定等が行われる。 【家庭訪問支援】 連絡会議で学校から支援依頼のあった家庭への訪問を行う。また、必要に応じて登校支援や、専門機関への橋渡し等を行う。 【地域・学校行事等への参加】 地域のお祭りや運動会等の行事に参加することにより、児童生徒の様子を見守るとともに、支援家庭との関係づくりや情報収集の場として活用する。 【こどもえがおサポートチーム連絡会議】 学期ごとに全チームが集まり情報交換を行い、適宜、研修会も開催する。 【えがお de サロン(保護者カフェ)の開催】 保護者懇談会等の学校行事日に合わせて、校内にて子育てサロン・カフェを開催し、気軽に足を運べる相談の場を提供すると共に、保護者同士の繋がりがづくりのためのサポートを行う。 【その他】 県主催の家庭教育アドバイザー養成講座・ステップアップ講座や各種研修会へ参加し資質向上に努めている。 他部署や民間団体と連携し、生活支援や学習支援等も合わせて実施。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・個別訪問や登下校支援(点の支援)、子育てサロン・カフェの開催(面の支援)を実践することで、誰一人取り残さない社会の実現を目指しています。 ・定期的な学校での連絡会議により、学校との情報共有が徹底され、また小中学校間の切れ目のない支援に繋がっています。 ・家庭訪問による傾聴で終わるのではなく、必要に応じて関係機関と連携したり、専門機関へ繋いだりするケースが増えています。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()